

フードサービスに関わる研究テーマを募集します。

日本フードサービス学会 第7回研究助成

主催：日本フードサービス学会

締切日：平成22年5月10日

共催：社団法人日本フードサービス協会

🍴 主旨・目的 🍴

日本フードサービス学会と社団法人日本フードサービス協会が協同で創設した研究助成制度です。産学協同運営による研究助成を通じて、フードサービス研究の活性化と発展に寄与することを目的としています。

🍴 募集区分と募集テーマ 🍴

研究助成制度には以下の2種類があります。それぞれ該当するテーマで応募下さい。

① 自主研究助成制度

研究テーマは自由。ただしフードサービスに関連する研究に限ります。

② プロジェクト研究助成制度

以下の課題テーマに沿ったもののみ受け付けます。

- I. 日本のフードサービス業を産業連関的（構造的）視点で分析する。
これまでの生産・流通・製造・サービスといった既存のプロセスを、大きく再構成する可能性を検討するための基盤となる研究成果を期待する。
- II. 日本の消費者の変化を中期的に分析し、それを前提とした国内フードサービス業への新しい市場戦略を提起する。
- III. 日本のフードサービス業の海外市場展開における経営課題を調査・分析する。

🍴 応募資格 🍴

日本フードサービス学会の会員以外からも広く募集しますが、非会員の方の場合は、助成の採択決定次第、当会に入会いただくことが条件となります。

学生については、2010年4月1日時点で大学院（博士後期課程）以上。実務者による研究も歓迎します。

🍴 助成金額 🍴

自主研究助成制度、プロジェクト研究助成制度のいずれも助成金額は、それぞれ上限として100万円が1本、50万円が2本。ただし、特に優れた研究には、特別報奨金を支給する場合があります。

🍴 助成採否の決定と研究成果の報告および研究成果の帰属について 🍴

① 助成採否

当会研究助成委員会での審査により決定し、該当者には6月頃を目処に通知をします。

② 研究成果の報告

2010年12月頃に行う中間報告を経て、2011年5月開催の当会年次大会で研究結果報告を行った後、最終的に研究論文を提出。論文は学会編集委員会での査読を経て当会年報16号（2011年10月発行予定）に掲載されます。さらに必要に応じて、調査研究過程において研究者・産業界との意見交換会を設定する予定です。

③ 研究成果の帰属

採択研究の当会年次大会での報告内容、提出論文等の研究成果は、日本フードサービス学会に帰属します。

注）助成金は、2回に分けて支給します。全支給額の半額を採択決定後、残りは中間報告の審査の後となります。中間報告の審査において、研究内容が当会の期待する基準に満たないと判断された場合には、助成金の支給を取りやめることもあります。

🍴 応募方法 🍴

申請書（学会所定のもの）と研究計画書（様式は特に問いませんが、研究概要を詳細に記入したもので、図表などを含めて頂いても構いません。予算計画も必ず添付して下さい。計画書の内容と予算の整合性を精査します）を郵送もしくはE-mail添付にて下記事務局までお送り下さい。

※所定の申請書はE-mailにて下記事務局までご請求下さい。

※審査の際、内容についてのヒアリング、あるいは計画書の再提出をお願いする場合があります。

※応募書類は返却いたしません。

日本フードサービス学会

申請書の請求・問合せ先

〒105-0013 東京都港区浜松町1-29-6 浜松町セントラルビル10階

社団法人 日本フードサービス協会内

TEL:03-5403-1060 FAX:03-5403-1070

E-mail:info-gakkai@jfgakkai.jp URL:http://www.jfgakkai.jp/

